

【重要】特定のSSDで電源投入時間が56,000時間を超えると、ドライブが30分～1時間ごとに再起動する

2024年10月02日 初版
2024年10月28日 第2版

日本ヒューレット・パッカード株式会社(以下HPE)より、特定のSSDにおいて、電源投入時間が56,000時間を超えると、ドライブが30分～1時間ごとに再起動する事象を防ぐためのファームウェア更新の情報が発表されています。詳細情報をHPEサポートサイトで確認をしてください。

SUPPORT ALERTS - CUSTOMER BULLETIN

HPE SSDs - Certain Drive Models Will Stall and Reboot After Exceeding the 56,000 Hours in Use for Its Power-On Hours (POH)

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00142174en_us

なお、HPEサポートサイトの情報は、随時更新されますので、必ず最新情報を確認するようにしてください。

【問い合わせ窓口】

ご利用構成での対応方法や手順などについては、HPE問い合わせ窓口を利用してください。

<https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=c04770344>

【重要】特定のSSDで電源投入時間が56,000時間を超えると、ドライブが30分～1時間ごとに再起動する

◆事象の概要 ※詳細内容は必ずHPEサポートサイトで確認をお願いします。

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00142174en_us

特定のSSDのファームウェアの問題で、ドライブの使用時間が56,000時間(つまり6.5年)を超えるとドライブが再起動します。再起動の頻度は定期的に行われ、30分から1時間ごとに発生します。ドライブをOSストレージとして使用してる場合は、この問題によりカーネルがクラッシュし、BSODが発生する可能性があります。非常にまれなケースですが、ドライブが停止したときにOSの主要ファイルの一部が破損する可能性があり、回復するにはOSイメージを作成する再起動プロセスが必要になります。

このドライブをデータ ストレージに使用してる場合、ドライブの故障が検出され報告されることがあります。

RAIDボリュームは再構築を試行しますが、これによりパフォーマンスが低下する可能性があります。さらに、再構築が完了する前にドライブの再起動が開始されると、ボリュームの再構築が失敗し、再構築サイクルが何度もトリガーされ、RAIDボリュームが回復できなくなります。

RAID内の複数のディスクが同時に故障すると、バックアップメディアから復元する以外にデータを回復できない場合があります。

◆対処方法

対象SSDのファームウェアをHPD3以降に更新してください。

◆対象となるSSDドライブ ※ファームウェアがHPD3未満のSSDドライブ

HPEサポートサイトで確認をお願いします。